

タイムス杯少年サッカー

はつらつプレー光る

2位の鎌田見事な堅守

市民タイムス杯少年サッカー新人戦・カガミカップは、得点力に勝ったトップストーンが初優勝した。中信勢は鎌田の準優勝が最高で、筑摩野が4位で続いた。連係などに相削りな面は見られたものの随所に好プレーも飛び出し、大会を通して来季に期待が膨らむ戦いぶりが見られた。

鎌田は大会初の連覇を逃したものの、安定した守備力が光った。「特別な選手がいらない分、チームワークで戦うスタイル」(洞沢純二監督)が、全6試合で1失点の結果に表れた。攻守の切り替えの速さや前線からの守備が徹底され高い位置でボールを奪えたことが、3人で形成した最終ラインを築にした。

1トでの試合で、体力や走りに頼る大味な展開はなかった。決勝と3位決定戦は、いずれも1点を争う縮まったゲームとなり、上位は例年同様実に力均衡した。トップストーンや鎌田をはじめ、中盤から前に能力の高い選手を配したチームが好成績を収めた。

試合結果

▽3位決定戦

茅野市 2 (1 1) 1 筑摩野
玉川 1 (1 0) 0

▽準決勝

トップストーン 2 (2 0) 1 茅野市
3 (3 0) 0 玉川

▽準々決勝

茅野市 2 (1 1) 0 豊科南
玉川 1 (1 0) 0

トップストーン 3 (2 0) 0 歴代
1 (1 0) 0

筑摩野 0 (0 0) 0 ONPI
PK 5 4 C

鎌田 1 (1 0) 0 諏訪
1 (1 0) 0



初優勝したトップストーン



準優勝した鎌田スポーツ少年団



3位の茅野市玉川サッカー少年団



4位の筑摩野SSS